

「九州大学アクティブラーニング教室」
大学院生に向けたアウトリーチ教育
—大学院基幹教育における実践例—
(文部科学省教育関係共同利用拠点事業)

関係各位

九州大学基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

このたび、下記の通り、アクティブラーニング手法に関する公開セミナー「大学院生に向けたアウトリーチ教育 —大学院基幹教育における実践例—」を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

【趣旨】

九州大学基幹教育院は、昨年7月に教育関係共同利用拠点として認定されました。教育関係共同利用拠点は、大学教職員の能力開発(FD/SD)や優れた教授法・教育プログラム・教材開発を推進し、広く全国に発信していくことを目的としています。

本拠点事業では、九州大学基幹教育院のみならず、九州大学内の優れた教育実践を学内全体や他大学に紹介し、大学教育の更なる活性化とパワーアップを図る場も提供しています。

本セミナーでは、大学院生に向けたアウトリーチ教育の実践例を紹介します。大学院基幹教育は、大学院での専門教育・研究、また大学院卒業後に仕事をする上で有用な、高度かつ汎用的な知識・技術・態度(「ハイエンド・リテラシー」)を涵養する目的で実施されています。近年、学術・研究に関わる者がその成果を社会へと発信していくアウトリーチ活動が重視されているなかで、大学院基幹教育科目においても、様々な専門分野を持つ大学院生が協働しながらアウトリーチについて学ぶことができる科目を提供しています。

今回は、これまでに様々なアウトリーチ活動に携わってこられた2名の講師の方の講演と、それを踏まえた参加者によるディスカッションやグループワークを実施します。アウトリーチ教育に関心を持たれている大学教職員・教育関係者・大学院生の方々にご参加いただき、大学院生に向けたアウトリーチ教育の事例を共有するとともに、今後のアウトリーチ教育の手法やあり方について、議論を深めたいと考えております。

【日時】平成29年10月28日(土)13:00～16:00

【会場】九州大学伊都キャンパスセンターゾーン・センター2号館1階2108号室
(福岡市西区元岡744 九州大学伊都キャンパス)

http://www.kyushu-u.ac.jp/f/30068/Ito_jp-2017.pdf ※キャンパスマップ60番です。

【定員】20名(先着順) 参加費:無料

【対象】大学教職員、大学院生、アウトリーチ教育に関心のある教育関係者等

《プログラム》 13:00～16:00 (適宜休憩を挟みます)

【講演者1】 茂泉 千尋 (九州国立博物館(展示課研究補佐員)、福岡女子大学美術館(事業コーディネーター)、九州大学総合研究博物館(協力研究員))

タイトル「多様な利用者に開かれたミュージアムを目指して」

概要 九州国立博物館の体験用資料を活用した展示観覧支援と、福岡女子大学美術館の芸術と社会をつなぐ人材育成事業「アートマネジメントアドバンス講座」の企画運営の事例を紹介します。

【講演者2】 小林良彦 (九州大学 基幹教育院 特任助教)

タイトル「大学院生による出前授業の実践とその教育効果」

概要 大学院生時に行っていた出前授業活動の概要について紹介します。特に、準備過程(ピアレビューによる発表練習)が大学院生に与える教育効果について述べます。

【コーディネーター・ファシリテーター】 小島 健太郎 (九州大学 基幹教育院 准教授)

【参加申込】 <http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/application/>

ウェブサイト内の申込フォーマットにてお申し込みください。

【締切】10月24日(火)17:00(ただし、定員に達し次第、受付を終了します。)

【注意】当日は報告書等利用のための写真・動画撮影を行います。予め、ご承知おき下さい。

【問い合わせ先】

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

TEL:092-802-6070 Mail:kyoten[at]artsci.kyushu-u.ac.jp ([at]→@)

(タイトルに【10/28 アクティブラーニング教室】と記載して頂きますと幸いです。)

*平成28年7月に、九州大学基幹教育院は「教育関係共同利用拠点」として文部科学省から認定され、その実施組織として「次世代型大学教育開発センター」を設置いたしました。教育関係共同利用拠点とは、多様化する社会と学生のニーズに応えつつ質の高い教育を提供していくために、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進するものです。

(http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigakukan/1375506.htm)

以上